やまきた 議会だより

平成21年2月1日発行
No. 156

夢いっぱいの 新成人

12月定例会	条例・補正予算	P.2
10月臨時会		P.3
11月臨時会		P.3
12月定例会	一般質問	P.5～9

再生紙を使用しています。

平成20年第4回定例会（12月議会）

平成20年第4回定例会が12月10日から12日の3日間開催されました。主な議題は山北町第4次総合計画基本構想の策定と条例の改正5件、一般会計、特別会計の補正予算でした。いずれも原案通り可決されました。また陳情が10件あり、4件は委員会に付託され審査の結果趣旨採択3件、不採択1件、6件は卓上配布となりました。

山北町第4次総合計画基本構想の策定

総合的かつ計画的な行政の運営を図るため、将来フレームや土地利用構想などを見直し、後期の基本計画を6年間で行うものです。町づくりのテーマや基本理念、町の将来像等は継承し、変更は第2次土地利用計画との整合性を見た中で、目標年次の平成26年の人口を1万4000人、世帯を4375世帯とするものです。

湯川議員　平成17年度と平成26年度では総人口は1万2655人から1万400人と1350人の増加を見込んでいるが、就業者人数が6459人から6500人と40人足らずの増加で、働かない未就業者の1300人を町で面倒を見ていく考えなのか。

答弁　現在の就業者が高齢化していくため、働きたくても、働けない方も出てくると思いますので、ボランティア等さまざまな形で町づくりに協力してもらう考えです。

湯川議員　町に今いる人たちが高齢化していく、新しい人が就業してもトータルとして就業者人数が減るのは理解できるが、もしこのようになった時、町の財政はどうなるのか。

答弁　財政的な面も含めて検討しました。

池谷議員　幼保一元化は言葉だけで、早めの検討、実施が必要ではないか。

答弁　学校統廃合とも関連があり、ある程度めどがつけば検討します。

石田議員　農林業の何を目標に計画を立てているのか。

答弁　農業オンリー林業オンリーでなく、広い意味で農林業を捉えて観光などとも結びつけた中で計画をたてました。

賛成多数で可決しました。

条例改正

山北町情報公開条例の改正

指定管理者制度の導入及び情報公開審査会設置に関する法律が施行されたことにより、制度を見直すものです。

全員賛成で可決しました。

山北町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正

地方自治法の一部が改正され、特別職で非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する規定が整備されたことに伴い提案され、全員賛成で可決しました。

山北町税条例の改正

地方税法の一部改正に伴い都道府県・市区町村が控除対象となる寄付金を条例指定できる制度、また、公的年金から住民税を特別徴収できる制度を創設するものです。

賛成多数で可決しました。

山北町手数料条例の改正

電算システムの変更に伴い証明書等の出力方法が変更されたことにより提案され、全員賛成で可決しました。

山北町国民健康保険条例の改正

産科医療補償制度の実施に伴い、出産育児一時金の規定を改正するものです。

全員賛成で可決しました。

補正予算

一般会計

6272万1000円を増額

歳入の主なものは、まちづくり交付金や国の緊急経済対策交付金の増などによる国庫支出金8701万などであり、歳出の主なものは山北幼稚園の耐震補強事業などであり、水上橋の架け替え事業や駅周辺魅力づくり調査について質疑がありましたが、全員賛成で可決しました。

水道事業会計

山北町水道事業会計は職員の異動に伴う人件費の減額と債務負担行為の限度額の変更です。全員賛成で可決しました。

特別会計

山北町国民健康保険事業

一般被保険者の医療費が1億1533万円の増加となり、国庫支出金や前期高齢者交付金の増加で対処するものです。

山北町老人保健医療

過年度分の医療費の精算です。

下水道事業

合併処理浄化槽システム整備のためのものです。

山北財産区

松田町外二ヶ町組合の配分金の確定に伴うものです。

三保財産区

財産区所有地の危険木伐採を実施するものです。

山北町介護保険事業

施設介護サービスの増加4081万円などです。

一括審査の結果、退職者医療制度や高額医療費の還付について質疑がありましたが、全員賛成で可決しました。

陳情

横浜弁護士会、神奈川県子どもの医療費無料化を求める連絡会、神奈川県保険医協会、地域医療の充実と県立足柄上病院の直営を守る会から提出されました。

一、地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政処置を政府等に求める意見書の採択を求める陳情。

総務環境常任委員会に付託され審議されました。

委員会では意見書提出賛成3名と趣旨採択賛成3名となり、委員長が消費者保護という内容には賛成するが、専門的知識が求められることや、財政状況を勘案し、また広域行政の中で実施中であり、南足柄市消費者センターを十分活用してもらいたいこと等を考慮して趣旨採択と裁決しました。

本会議でも採決の結果趣旨採択と決定しました。

二、医療費助成制度に関する県への意見書提出を求める陳情。

福祉教育常任委員会に付託され審査されました。

来年1月から県でひとり親家庭医療費の見直しがされると、今まで通信制の高校に行っていた生徒は、20歳までが対象となり、その部分が増え、小児医療費については10月から県は補助金の対象を0歳から5歳就学前までが対象となり、県の助成金が増えるので、町の負担は減る。重度障害者医療費も考えなければならないが、当面は子育て支援を重点に考え趣旨採択としました。

本会議でも採決の結果趣旨採択と決定しました。

三、介護療養病床廃止中止を求める意見書採択を求める陳情。

委員会では医療病床が25万床から22万床となり、3万床減る代わりに、老人保健施設の中に夜間や見取りなど医療機能を強化した病床を3万床創設して対応することを考慮して、趣旨採択としました。

本会議でも採決の結果趣旨採択と決定しました。

四、県立足柄上病院の直営存続を行うよう県に対しての意見書提出を求める陳情

本件の陳情にある県議会への請願は不採択となっている。また独立行政法人になるのは足柄上病院だけでなく、県内の全部の県立病院である。県の職員からの陳情で、身分保障の問題等があり不採択としました。

本会議でも採決の結果不採択と決定しました。

山北診療所前でテープカットする関係者

人事案件

南足柄市外五ヶ市町組合議会議員の選挙

前任者の任期満了に伴い、指名推選の結果、相原勇治氏（山北町岸）を選出しました。

第4回臨時会

平成20年10月22日に開催され、一般会計補正予算と指定管理者（公募施設）の指定について審議しました。

歳出の主なものは、山北診療所再開に伴う医療機器2204万円及び往診用の車輌購入費123万円です。またこの再開に合わせて指定管理者の指定が行われ、社団法人地域医療振興協会が選定されました。

指定期間は9年4ヶ月、平成22年度までの3年間は利用料金収入で施設運営事業費が賄えない場合はその実績に基づいて町から管理委託料を支払うものです。

質疑では医療機器の内訳やリースなど今後追加発生する費用が無いことが確認され、全員賛成で可決しました。

第5回臨時会

平成20年11月18日に開催されました。

平成20年度水上橋架替工事請負契約

指名競争入札の結果、山北町向原、株式会社荻野工業（代表取締役荻野勝明）が落札しました。契約金額は1億8044万2500円、3年間の継続工事で、工期は平成23年3月18日です。工事の概要は20年度、孫子沢川の改修及び尺里川の左岸の橋台、21年度、右岸の橋台、22年度、橋長、橋の上部工を行うものです。

全員賛成で可決

架替工事の始まった水上橋

平成20年度町立山北診療所医療機器購入

指名競争入札の結果、厚木市田村、協和医科器械株式会社（厚木営業所長　塩田真基）が落札しました。契約金は2236万5000円、納期は11月25日です。機器の内訳はデジタルX線画像装置、内視鏡洗浄機、心電計、デジタル眼底カメラ、富士アナライザーなどです。

全員賛成で可決

審議した議案と議員の賛否

平成 20 年第 4 回臨時会

議案番号	議案＼議員名（議席順）	結果	佐藤光男	湯川裕司	川村俊治	熊澤友子	池谷荘次郎	石田進二	杉本君雄	本杉博是	茂木猛	瀬戸恵津子	岩本章治	牧田礼二	小菅光雄
83	平成２０年度山北町一般会計補正予算（第４号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	指定管理者（公募施設）の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成 20 年第 5 回臨時会

85	平成２０年度水上橋架替工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	動産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成 20 年第 4 回定例会

87	山北町第４次総合計画基本構想の策定について	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	山北町情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89	山北町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	山北町税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
91	山北町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
92	山北町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93	平成２０年度山北町一般会計補正予算（第５号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
94	平成２０年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
95	平成２０年度山北町老人保健医療特別会計補正予算（第４号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
96	平成２０年度山北町下水道事業特別会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
97	平成２０年度山北町山北財産区特別会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
98	平成２０年度山北町三保財産区特別会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
99	平成２０年度山北町介護保険事業特別会計補正予算（第３号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
100	平成２０年度山北町水道事業会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、●は反対を表しています。 細川哲郎議長は、採決に加わりません。

一般質問

健康づくり

質問 パークゴルフ場建設に尽力を

答弁 財政を見据え21年度から取り組みたい

岩本　章治 議員

質問　町長就任以来、健康面への配慮に傾注し諸所に効果が生じています。病院閉鎖続出の中、町立診療所が再開出来た事は大きな成果です。町の高齢化率は27％、医療費支出は更に増えると思います。高齢者の健康維持に適度な運動が出来る場も必要でしょう。ウォーキングやゲートボールに励んでいる方もいますが、ゲートボールのルールに、コート外にはじき出す行為に違和感を感じ、加入者が減少傾向にあると言われます。

　ゴルフはマイペース競技のため増加傾向にあり我が町に設置が出来ればと言う声が聞かれます。幸い旧山高の跡地がある。設置に前向きの姿勢があるか伺います。

答弁　旧山高跡地にパークゴルフ場とのご意見ですが、要望を数多く聞いていますから、庁舎内で検討しています。下段側はスポーツ広場の駐車場に使用中であり、国道側は現状の面積では9ホールや練習コースの整備であれば可能と考えられますが、18ホールの公認コースは困難であると思われます。しかし、パークゴルフ場の整備については、元ハイツ&ヴィラなかがわの跡地活用の構想案を、県や地域と調整しているところでもあり、ご意見をいただきながら実現化に向けて、財政状況を見ながら21年度から具体的に取り組んでいきたい。

質問　県西の合併問題はトーンダウンしたが、各首長は、将来は必要と言っている。合併が実現すると山北に設置を提起しても、周囲にあるとして協力は得られないと思う。合併前の着手に向け本腰を入れて欲しい。

答弁　十分理解しています。建設したい意思ははっきりしていますので、旧山高跡地で決まれば良いし、決まらなければ別途探す事を含め継続して進めます。

※質問者本人が原稿を作成しています。

防　災

質問 自然災害時の対策は

答弁 関係者と対策について協議する

石田　進二 議員

　今年は記録的な集中豪雨が世界各国で発生し、尊い生命・財産が失われた。県内では8月末のゲリラ豪雨により、数時間で多くの被害が発生した。今後豪雨対策だけでなく、発生すると予想されている地震対策も必要であります。

質問　町内全体の雨量情報は。

答弁　豪雨時には県防災行政通信網により、横浜地方気象台が発生する大雨に関する情報が送られてきて、この情報により最大1時間雨量と、町内7ヶ所に設置してある雨量計を県ホームページで確認している。

質問　東京電力が大又沢取入ダムなどに雨量計を設置してあるので情報の協力をお願いすべきと思うが。

答弁　設置箇所を確認し、協力を得られるか検討します。

質問　災害の発生後は迅速な初動作業が必要であり、町内民間事業者と復旧作業のための機材の使用ができる契約がしてあるのか。

答弁　平成10年4月に山北町建設業協同組合、また平成20年4月に町内のレンタル事業者と、風水害・地震・その他の災害応急工事に関する業務協定及びレンタル機材の供給に関する協定書を締結している。

質問　財団法人神奈川県自動車整備振興協会足柄支部に応急対策の協力依頼をする考えは。

答弁　情報を十分把握し、確認した中で働きかけをします。

質問　災害の時の避難指示・避難勧告などの発令基準があるのか。

答弁　災害対策基本法あるいは山北町地域防災計画に定めてあり、災害が発生し、または、発生する恐れがある場合においては、生命を災害から保護し、その他、災害の拡大を防止するため特に必要と認めるときは、町長が必要と認める地域に対し、避難のための指示・勧告を行う。この場合の基準が地域防災計画に記載されております。

教育行政

質問 学習指導要領の改定案への対応は

答弁 今まで以上に支援は行われます

瀬戸恵津子 議員

質問　授業数が増えるので今でさえ過酷な勤務実態や子ども達へのさまざまな支援はどうなるのか。

答弁　現行学習指導要領と新学習指導要領の授業時間数を比較すると、一、二年生が週あたり二時間、三年生から六年生が一時間の増となります。中学生は全学年とも、一時間の増となり、子ども達や教職員の負担が急激に大きくなるわけではありません。

質問　夏休みや土曜日を使って地域ボランティアの支援を活用してはどうか。

答弁　地域ボランティアの積極的な活用に力を注ぐ方針ですが、夏休みについては、エアコンなどの学習環境が整っていないので、今までどおり各学校の実態に応じて対応します。

質問　お茶の産地である町の特徴をいかして茶道を取り入れる考えは。

答弁　文化庁の委嘱事業による伝統文化子ども教室助成事業を活用し、各学校に負担にならないように指導します。

質問　教育行政の組織及び運営に関する法律の改正への対応は。

答弁　教育委員会の外部評価に関しては、一市五町の教育長会議や学校教育課長会などにおいて検討中です。大きな市町のように教育委員会、学校教育課だけでチームを組んで検討できる規模ではないので、どのような形で事務管理及び執行状況について評価いただくか他市町と歩調を合わせます。内部評価については年度内に何らかの形にする方向で検討します。

質問　放課後子ども教室への取り組みは。

答弁　余裕教室がないので、実施場所や指導員、地域ボランティア等をよく精査した中で、今後子ども体験センターを見直しして、実施できるよう検討します。

質問　学校から保護者に携帯電話による連絡網や防犯ニュース等の配信を行う予定は。

答弁　個人情報の問題を加味しながら来年度に行いたい。

金融危機

質問 不況下の雇用対策は

答弁 雇用支援を調査検討していきます

湯川　裕司 議員

質問　今回の不況は100年に一度と言われている。町長はどの程度の認識か。

答弁　私も100年に一度の不況と認識していますが、町の施策ももちろんですが基本的には国がやるべきことで、早くやってほしいと思っています。

質問　この不況がどのくらい続くのか、来年の見通しは。

答弁　少なくとも2～3年、場合によってはもっとかかるかもしれません。

質問　今後、町民にどのような影響があると考えているのか。

答弁　新聞報道されている派遣の問題等がそれぞれの方に影響がでると思います。

質問　町の企業や産業にとって、今後の見通しは。

答弁　小田原でも100万円以上の負債を残しての倒産が13件ということで、わが町の業者も同じ状況だと思います。各企業が大きなうねりの中で小舟のように揺らいでいるものに対して、町として何が出来るかとなると、残念ながら難しい面があります。

質問　小田原市では企業が借り入れするときに、保証協会に支払う保証金を補助している。近隣市町で行っている対策は町でもすぐできると思うが、どのように考えているのか。

答弁　小田原市の規模であればできるかもしれないが、近隣の町の対応を全部把握していませんので、山北町としてできることを至急検討します。

質問　例えば財政調整基金を使って仕事を作るとか、水源環境税を使った仕事もあると思うが、何か町の対策はないのか。

答弁　何ができるか現実的な問題として、よく精査して対応します。

質問　決して裕福でない町ですが、その中で町として最大限、行えることを発信してはどうか。

答弁　町民の生活に有効であるなら前向きに受け止め、意欲だけでなく方法論が見えれば実施します。

予算編成

質問 平成21年度予算とその政策について

答弁 第2子以降の赤ちゃんに紙おむつ支給

池谷荘次郎 議員

平成21年度の予算編成に当たり、町長選挙の立候補に対し、幾つかの主要政策が示され、3回目の予算編成に期待するところであります。そこで、次の項目について質問します。

質問 健康町民のまちやまきた

答弁 21年度新規事業は、健康の意識向上を図るために、「健康づくりポイント事業」を設け、元気で生き生き生活できるよう推進します。

質問 水源地・やまきた

答弁 地域水源林整備河川・水路整備、地下水保全対策、浄化槽整備の4つの事業を積極的に推進します。また、県民の水がめ丹沢湖の水質保全のため、丹沢湖集水域の高度処理型合併浄化槽を積極的に推進します。

質問 子育て支援

答弁 中学3年修了までの医療費無料化について、22年度予算編成までには実現したい。また、21年度の新規事業として、第2子以降の赤ちゃんに紙おむつ支給を考えています。

なお、妊婦健康診査については、国の方針を見きわめた中で検診回数を14回までの拡大を考えています。

質問 自然観光のまちやまきた

答弁 自然環境の大切さや都市住民との交流事業を積極的に行い、四季折々楽しめる花木の植栽や、ホタルの飛び交う里等の整備を実施していきます。

質問 切磋琢磨の教育環境

答弁 三保・清水地域を対象に遠距離通学している児童・生徒に対し通学補助金を検討します。

質問 ごみ処理先進地自治体

答弁 環境推進協議会が策定する地球温暖化防止地域推進計画に基づき、民意主導により町民、事業者、行政が一体となり積極的に推進し、全国に誇れる町を目指します。

質問 合併問題について

答弁 合併検討会において、平成22年3月までに最終的な方向性を出す予定です。

市町村合併

質問 県西市町合併協議への対応

答弁 具体的な課題を提供できるようにしたい

川村 俊治 議員

質問 県西地域合併検討会では下部組織として任意合併協議会研究会（以下研究会）を設置するが、町はどのように対応するのか。

答弁 副市長、副町長の組織である研究会で検討し、合併検討会では22年3月までに最終的な方向性を明らかにする予定であるので、研究会からの報告を踏まえて、具体的な判断材料を町民に提供する必要があると考えています。

質問 小田原市長は、市議会が請願を採択したのを受けて、合併に舵を切ったと見えるがどうか。

答弁 市議会の提案を受けて、前に踏み出したと受け取っている。

質問 任意合併協議会が設置されれば参加を表明しているが、その前に研究会で課題を掘り下げ町民に具体的な情報を提供する必要があると考えるがどうか。

答弁 そのとおりであります。

質問 合併したときとしないときの町の財政の実態を明らかにして、町民が財政運営のあり方を自覚して選択するべきではないか。

答弁 財政の実態を把握して、共通の土俵で比較できるデータを提供できるようにしたい。

質問 平成合併の検証をして、町民に情報を知らせるべきだ。

答弁 県西2市8町のような財政的に健全な市町の事例は多分ない。将来を見据えた前向きな合併をすれば全国初かもしれない。

質問 合併のメリット・デメリットは一般論化できない。中核市になったとき、広大な面積に少ない人口の山北はどうなるかを明らかにすべきだ。

答弁 先々のことを十分想定した上で発言し、対応していきたい。

質問 道州制が導入されたときは基礎自治体の規模が制限され、合併の強力推進、そして編入合併の強制が考えられる。それについても検討が必要だ。

答弁 道州制については全国町村会で反対しており、まだ先の議論だと考えている。

交通手段

質問 マイカー送迎の要らない社会へ

答弁 地域の生活交通は維持したい

茂木　猛 議員

質問　通勤、通学のためのマイカーを利用しなければならない家庭は多く、アンケートでも交通の便の悪さを憂う多くの町民の声が寄せられている。今、診療所再開にあわせ、隣接する谷峨駅への交通手段を再考するときではないか。

答弁　現在、富士急湘南バスは国・県の補助を受け、谷峨駅を経由する路線の維持を図っていますが、利用者の減少によっては運行本数の削減や運賃の値上げをせざる状況にあるため、仮に福祉バスや町営バスなどの手法が既存路線と競合した場合には、その廃止も心配されます。これからは定住人口対策や子育て支援、通学交通費補助、バス利用者の増加策、国・県に対して運行補助等の要望するなど、地域の生活交通は何としても維持する決意で取り組みます。

質問　診療所へは送迎ではなく、往診を予定していると聞いているが、状況は。

答弁　往診用の車は用意しました。開始時期等は先生とよく話し合いをしながら進めます。

質問　山北駅止まりの列車を谷峨まで延伸できないか。

答弁　この件は従来から御殿場線輸送力増強促進連盟を通じて毎年要求しています。難しいとの回答ですが、決してあきらめていません。

　山北駅止まりは山北固有の問題ではなく、御殿場駅まで延長として、山北町、小山町、御殿場市と連携し、今後とも強くＪＲに要望していきます。

質問　子どもの送り迎えがあるからパートに行けないとの声もあるなか、他に利用可能な町の車両がないかと常に問題意識を持ち、工夫し、共助し送迎の問題を解消していくような社会の雰囲気づくりが欲しい。

答弁　仕組みづくりは町も検討していきますが、予算的問題と、地域に於ける人的な負担の問題等、十分に議論が必要だと考えます。

健康づくり

質問 パークゴルフ場の早期建設を

答弁 実現に向けて推進します

杉本　君雄 議員

質問　私たちの調査によるとサッカー場を造り、体育館は残してとの声もあるが、地元と良く協議して欲しい。

答弁　サッカー場は初めて聞いたので地域と協議します。

質問　旧山高跡地を９ホールで検討しているが、プレー費はいくらか。

答弁　まだ検討していません。

質問　旧山高跡地を９ホールでは中途半端である。18ホールを造るべきなので、町パークゴルフ検討有志会と協議の場を設けてほしい。

答弁　旧山高跡地については関連の方々と協議の機会を設けます。

質問　庁舎内の検討する課はどこか。

答弁　政策室で担当します。

　パークゴルフ場を造って欲しいとの声がふれあい懇談会や老人連合会、子ども会からも多くあるので質問します。

質問　パークゴルフ場の早期建設の考えは

答弁　元ハイツ&ヴィラなかがわや旧山高跡地も含めて、山北町第４次総合計画後期基本計画に位置付けているので、パークゴルフ場整備の実現に向けて推進します。

質問　中川に公認コースを検討しているが地域の合意を含めて完成期間は。

答弁　元ハイツ&ヴィラなかがわの建物の撤去が平成21年度中にできれば、22年度中には造りたい考えです。

質問　旧山高跡地を検討するにも予算化が必要だ。

答弁　平成21年度には、調査費を計上します。

　次に、つぶらの公園の推進状況について質問をいたしました。

答弁　平成20年度においては、平成19年度全体基本構想見直し案をもとに、基本計画策定委員会が発足し、副町長、共和地区・清水地区から各１名の方が委員に選出され、第１回目の会議が12月５日に開催されました。

　今後の日程は、平成20年度・21年度とも３回の会議を行う。委員会では、全体計画及び第１期工区の基本計画の策定を行い、工事に着手する計画です。

住宅施策

質問 町営住宅整備の課題は

答弁 22年度以降に推進していきたい

熊澤　友子 議員

本町には町営住宅・改良住宅・中堅所得者向け住宅と合計217戸あり、現在163世帯の方々が入居されております。昭和30年代から40年代にかけて建てられた住宅ばかりで老朽化が進み、今まで住んでいた方が転居しても空き家のまま、入居者を募集することができない現実が、何年も続いています。募集ができるのは、町営住宅2ヶ所と中堅所得者向け住宅だけとなっており、本町の発展のためにも課題に取り組む大事な時期にあると思い質問します。

質問　老朽化した町営住宅について、どのように進めることが町の将来にとって大事だと考えるか。

答弁　全面改善及び中高層住宅等への建替え、公営駐車場や分譲用への用途変更、高齢者や障害者に利用しやすい設備の導入、若者や中堅所得者向け住宅の建設などに取り組むことが大事と考えます。

質問　第4次総合計画の中で、老朽化した町営住宅の解体推進とありますが、具体的に何年後にという考えは。

答弁　全体の予算の問題もありますので、平成22年度以降ということです。

質問　空き家対策として、周りに住んでいる方々の環境面も考え、草刈りも含め整えておくのが町としての責任と思われますが、考えは。

答弁　最低限の対応で済むような形で対応していきます。草刈りは年2回従来どおり対応します。

質問　新しい町営住宅の建設は。また子育て支援のための住宅建設という考えは。

答弁　平成22年度以降の可能性をみきわめた中で進めていきたい。そのことが子育て支援につながると思うので、平成26年度までの範囲の中で進めていきたい。

老朽化が進んでいる町営住宅

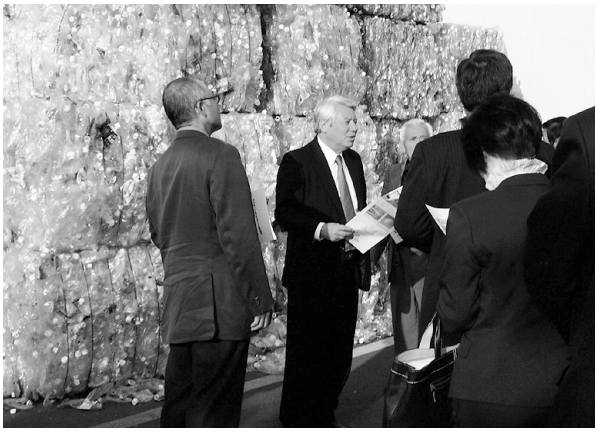
資源ごみ再生ルートを視察

議員研修会を実施

分別収集されているペットボトル、プラスチック製容器包装、トレー・発泡スチロールなどの資源ごみは分別収集された後、どういうルートで再生されているのかを視察するため、去る12月4日、全議員の参加で研修を行いました。

南足柄市にある中間処理業者のあしがら環境保全株式会社、海老名市のプラスチック製容器包装再生業者株式会社タズミ、そして埼玉県神川町にあるペットボトル再生業者さいたまペットボトルリサイクル株式会社の3社を訪問しました。

リサイクルステーションに出された資源ごみは中間処理業者である南足柄市のあしがら環境保全株式会社で選別・圧縮して次に運ばれ、選別・圧縮して次工程の再生業者に運ばれます。



さいたまペットボトルリサイクル㈱にて

ペットボトルはラベルをはずして出すことにより、品質の高い原料になるので、山北町の取り組みは高く評価されております。圧縮後埼玉県のリサイクル会社に運ばれ、選別・洗浄の後細かく砕いてPETフレークとなり、フリース、カーテン、カーペット等の材料として出荷されています。

プラスチック製容器包装はあしがら環境保全株式会社で選別・圧縮の後、海老名市の再生業者で再生固形燃料（RPF）に再生され、火力発電所の燃料として出荷されています。

トレー・発泡スチロールはあしがら環境保全株式会社で溶融・固形化の後出荷され、パレットとして再生されています。

資源ごみは有効に再生活用されており、皆様の分別の努力は活かされていることを報告致します。

（川村俊治）

議会活動

11月

11. 7　足柄上地区1市5町議会議員スポーツ大会
11. 12　自治功労者表彰式
12　町村議会議員研修会
11. 17　議長・副議長各常任委員会委員長等研修会
11. 18　議会運営委員会
18　第5回臨時会・本会議
18　全員協議会
11. 19　第52回全国町村議会議長大会
11. 21　第9回富士箱根伊豆交流圏市町村サミット
11. 27　議会運営委員会

12月

12. 4　町議会議員視察研修（南足柄市ほか）
12. 10　第4回定例会・本会議
12. 11　第4回定例会・本会議
11　常任委員会
12. 12　第4回定例会・本会議
12　全員協議会
12. 18　西湘地区2市8町議会正副議長会
12. 24　議会だより編集委員会

1月

1. 7　市町村長・議長との賀詞交換会
1. 14　議会だより編集委員会
1. 19　議会だより編集委員会
1. 20　議長・副議長・事務局長合同研修会
1. 23　議会だより編集委員会
1. 26　県町村議会議長会役員会
1. 27　郡定例議長会
1. 30　議会運営委員会
30　第1回臨時会・本会議
30　全員協議会

議会の傍聴においで下さい

3月定例会

3月5日（木）
～
16日（月）
予定

庁舎内テレビでも放映しています。

◆ お問い合わせ ◆
議会事務局
電話 75－3653

編集後記

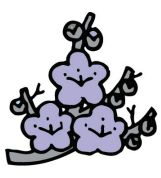
平成21年がスタートいたしました。町民のみなさんにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

山北町では成人式が1月11日に挙行されました。新成人となられた178名の皆さまご成人おめでとうございます。

ご成人になられた方々の可能性に期待すると同時に各自の夢に向かって努力を続けて欲しいものです。

議会だよりも、より多くの町民に親しまれるよう、取り組んでまいりますので、今後もご意見、ご要望をお寄せください。

委員長　湯川裕司
副委員長　杉本君雄
川村俊治
熊澤友子
瀬戸恵津子
岩本章治



◆編集発行／山北町議会　〒258-0195　神奈川県足柄上郡山北町山北1301番地4　☎0465-75-3653（直通）FAX 75-3660
メール gikai@town.yamakita.kanagawa.jp